



豊國山重作

貴重書

特別
196

陽齋南山作

二人児女

よそこりたきう福うアきち

寄愛度金賣吉事

全六冊

岳亭春信画 泉市版

40. 8. 26
730 553



代序

作者

陽齋南山

二十日... 岳亭... 陽齋南山... 寄愛度金賣吉事... 泉市版... 全六冊... 二人児女... 岳亭春信画... 陽齋南山作



金子
福次妻
玉の井

敵
小佐田太助
義宗



源
義朝公
大將

金子

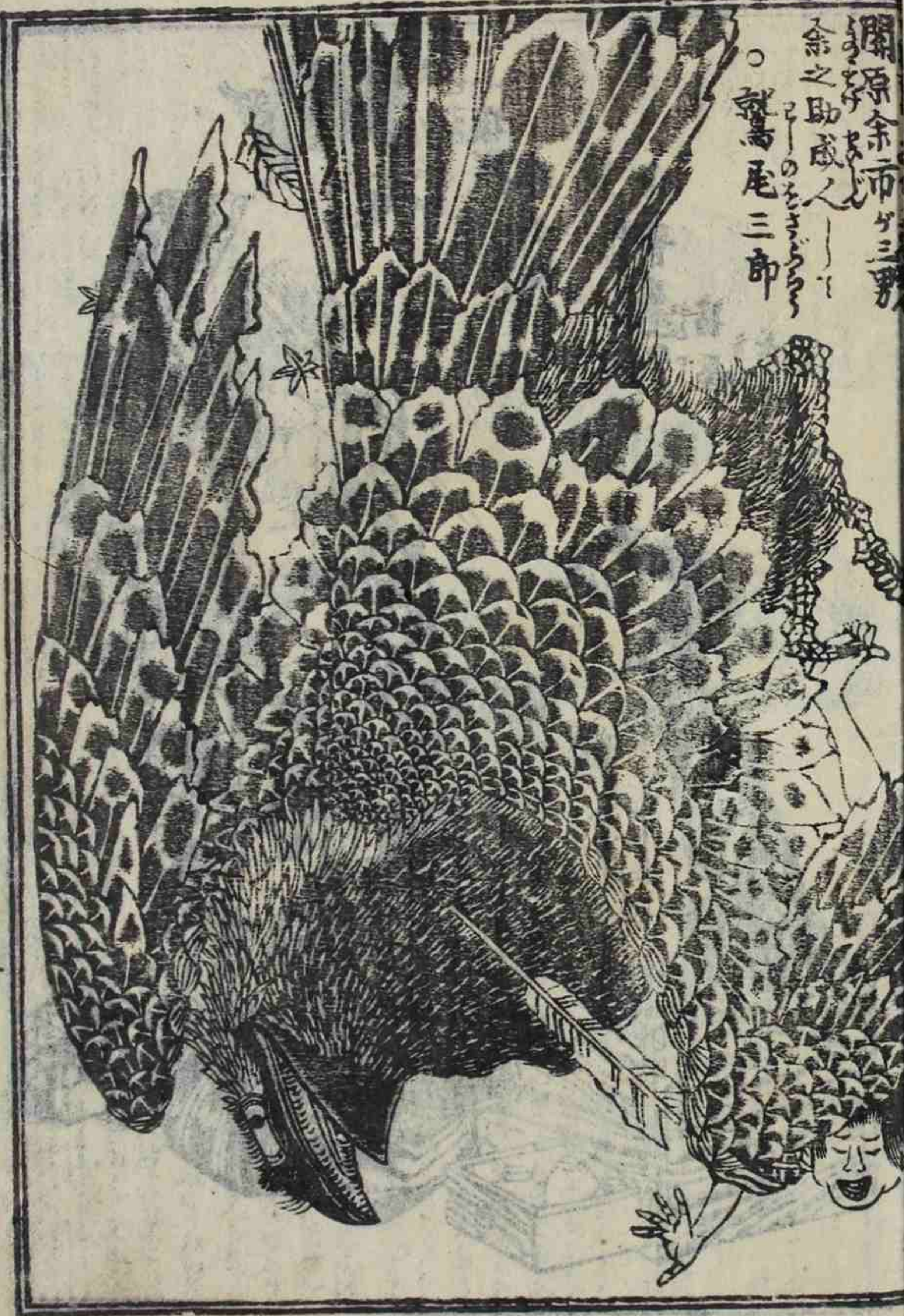


源之助
御前
若丸
壬生小後
五世



金子賣
娘次
葉の
有子
若丸
此





關原余市が三男
余之助成入
鶴尾三郎



義朝忠臣
關原余市



關原余市が
二人のせがれ

原三郎

關三郎



Handwritten text in a cursive style, likely a narrative or commentary related to the illustration above. The text is arranged in vertical columns, starting from the right side of the illustration and moving left.



Handwritten text in a cursive style, continuing the narrative or commentary from the top section. It is arranged in vertical columns, starting from the right side of the decorative squares and moving left.



Annotations and labels in Japanese characters surrounding the illustration. Labels include '小娘' (young girl), '毒小枝' (poisonous branch), '音達の宿屋' (Inochi no Yadoya), and '壬生の小娘' (Nishino no Onna).



Handwritten text in the upper left corner of the left page, possibly a title or chapter heading.



Handwritten text in the lower left corner of the left page, continuing the narrative or providing commentary.

Handwritten text in the upper right corner of the right page, likely a title or chapter heading.



Handwritten text in the upper right corner of the right page, possibly a title or chapter heading.

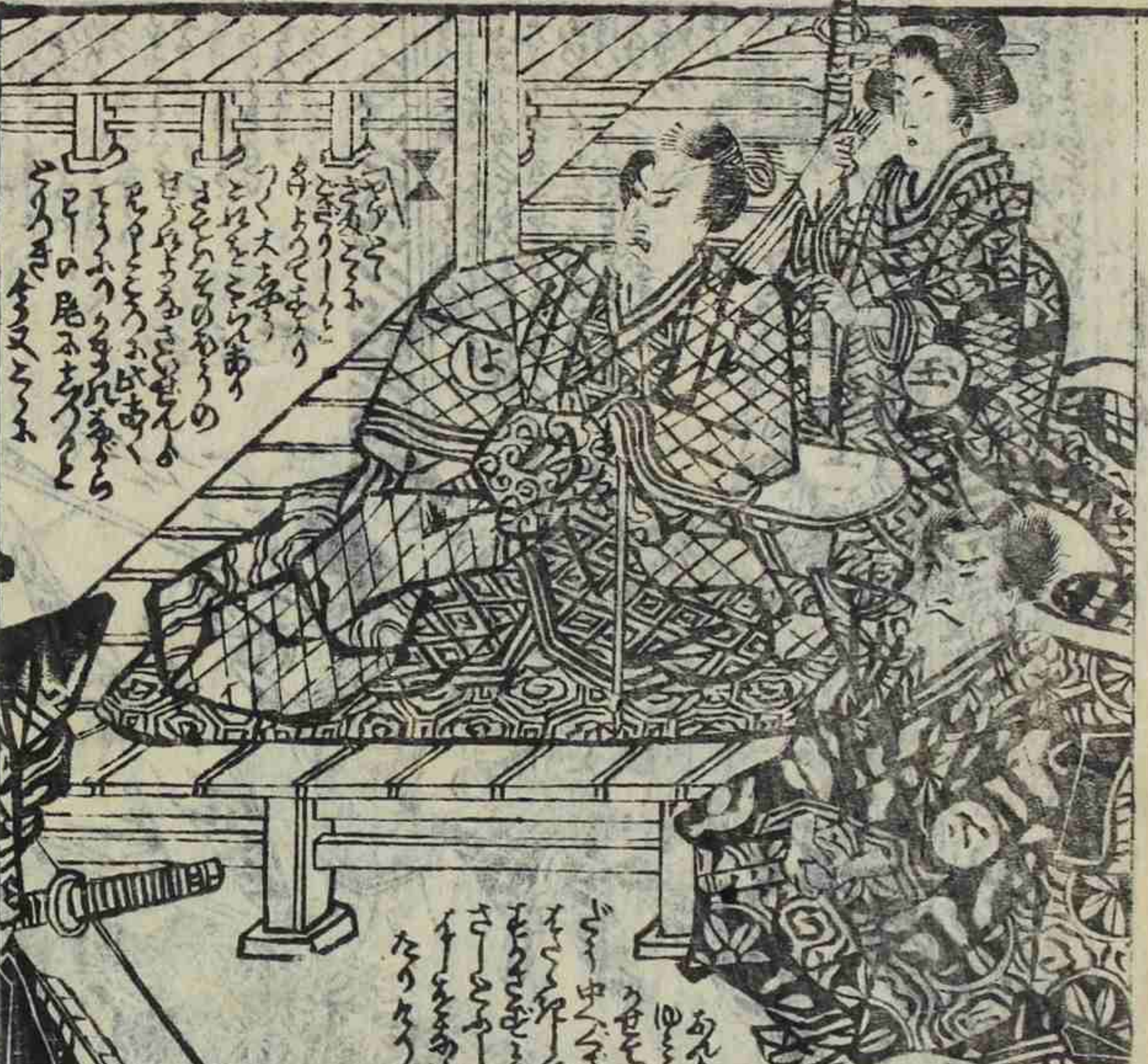
Handwritten text in the middle right corner of the right page, continuing the narrative or providing commentary.

Handwritten text in the lower right corner of the right page, continuing the narrative or providing commentary.

Handwritten text in the left margin of the top page, including the characters '松' (Matsu) and '余' (I).



Handwritten text in the bottom margin of the top page, continuing the narrative or commentary.



Handwritten text in the top margin of the bottom page, positioned above the main illustration.

Handwritten text in the bottom margin of the bottom page, providing further details or commentary.

三の巻



あはれなむらさきの花も
かたやうの
かたやうの

あはれなむらさきの花も
かたやうの
かたやうの



あはれなむらさきの花も
かたやうの
かたやうの



あはれなむらさきの花も
かたやうの
かたやうの





この
侍は
名は
義経
は
源氏
の
名將
なり
と
い
は
れ
り
此
の
時
に
北
條
の
時
義
と
は
戦
ひ
つ
つ
に
あ
つ
た
り
て
義
経
は
時
義
を
討
ち
死
せ
し
め
り
と
い
は
れ
り
此
の
時
に
義
経
は
時
義
を
討
ち
死
せ
し
め
り
と
い
は
れ
り
此
の
時
に
義
経
は
時
義
を
討
ち
死
せ
し
め
り
と
い
は
れ
り



平家
の
名將
なり
と
い
は
れ
り
此
の
時
に
北
條
の
時
義
と
は
戦
ひ
つ
つ
に
あ
つ
た
り
て
義
経
は
時
義
を
討
ち
死
せ
し
め
り
と
い
は
れ
り
此
の
時
に
義
経
は
時
義
を
討
ち
死
せ
し
め
り
と
い
は
れ
り
此
の
時
に
義
経
は
時
義
を
討
ち
死
せ
し
め
り
と
い
は
れ
り



この
侍は
名は
義経
は
源氏
の
名將
なり
と
い
は
れ
り
此
の
時
に
北
條
の
時
義
と
は
戦
ひ
つ
つ
に
あ
つ
た
り
て
義
経
は
時
義
を
討
ち
死
せ
し
め
り
と
い
は
れ
り
此
の
時
に
義
経
は
時
義
を
討
ち
死
せ
し
め
り
と
い
は
れ
り
此
の
時
に
義
経
は
時
義
を
討
ち
死
せ
し
め
り
と
い
は
れ
り

この
侍は
名は
義経
は
源氏
の
名將
なり
と
い
は
れ
り
此
の
時
に
北
條
の
時
義
と
は
戦
ひ
つ
つ
に
あ
つ
た
り
て
義
経
は
時
義
を
討
ち
死
せ
し
め
り
と
い
は
れ
り
此
の
時
に
義
経
は
時
義
を
討
ち
死
せ
し
め
り
と
い
は
れ
り
此
の
時
に
義
経
は
時
義
を
討
ち
死
せ
し
め
り
と
い
は
れ
り

この
侍は
名は
義経
は
源氏
の
名將
なり
と
い
は
れ
り
此
の
時
に
北
條
の
時
義
と
は
戦
ひ
つ
つ
に
あ
つ
た
り
て
義
経
は
時
義
を
討
ち
死
せ
し
め
り
と
い
は
れ
り
此
の
時
に
義
経
は
時
義
を
討
ち
死
せ
し
め
り
と
い
は
れ
り
此
の
時
に
義
経
は
時
義
を
討
ち
死
せ
し
め
り
と
い
は
れ
り



国文
24J
43

岳高春信画図

あまのりきまはかちのせいのあかあ
 こころにわらわのこころをこころ
 のこころをこころのこころをこころ
 のこころをこころのこころをこころ
 のこころをこころのこころをこころ
 のこころをこころのこころをこころ
 のこころをこころのこころをこころ
 のこころをこころのこころをこころ
 のこころをこころのこころをこころ



筆 耕 馬 赤 水

あまのりきまはかちのせいのあかあ
 こころにわらわのこころをこころ
 のこころをこころのこころをこころ
 のこころをこころのこころをこころ
 のこころをこころのこころをこころ
 のこころをこころのこころをこころ
 のこころをこころのこころをこころ
 のこころをこころのこころをこころ

あまのりきまはかちのせいのあかあ
 こころにわらわのこころをこころ
 のこころをこころのこころをこころ
 のこころをこころのこころをこころ
 のこころをこころのこころをこころ
 のこころをこころのこころをこころ
 のこころをこころのこころをこころ

国文
24L
43



國文
圖書
5年度

文
4L
3